

令和7年度 事業報告

事業運営状況の概要

4年前に長年の主要事業であった自転車駐輪場管理業務が終了したことを契機として、令和7年度は、センターとしての事業構造の転換を進めてきた取り組みの成果が徐々に形となった一年でした。事業構造が大きく変化する中で、成熟事業の喪失による影響を最小限に抑えるため、地域ニーズの変化を踏まえた新規事業の確立と拡大に重点を置き、学童見守り事業やフリースペース事業など、地域福祉に資する事業の立ち上げを積極的に推進してきました。

また、交野市行政との連携による「ボール遊び広場見守り業務」の継続・拡大や、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会委託事業である「シルバー会員就業支援事業」の受託など、公共性の高い事業の拡充にも取り組みました。これらの事業における会員の適正配置によるマッチングについては、未就業会員の優先的な配置を進め、就業機会の確保と就業率向上に繋がる取り組みを強化しました。

具体的には、会員アンケートから得たシルバー人材バンクのデータを活用し、新規就業先の開拓や既存就業先の拡大を進めた結果、民間事業の実績は前年度比 99.7%と横ばいでしたが、公共事業の実績は前年度比 128.4%となり、全体の事業実績は前年度比 113.0%と増加しました。成熟事業の喪失という厳しい環境下でありながら、新規事業の確立と既存事業の拡大が着実に進んだ一年となりました。

収支面では、行政との連携による事業受託の拡大に加え、業務効率化や固定費の見直しを継続的に実施した結果、約400万円の黒字を達成し、安定した財務基盤を維持することができました。

また会員数については、夫婦会員制度による会員拡大策、ゴールド会員制度による退会抑制策を導入した結果、当初目標増加率である前年度比24%増加には至りませんでした。約16%・70名増加し過去18年間で最高を記録しました。

安全就業については、傷害事故3件、賠償事故7件が発生したことを受け、安全適正就業部会による現場パトロールや事故分析を実施し、作業班への安全対策の徹底を図りました。これにより、会員の安全意識向上と事故再発防止に努めました。

以上のとおり、本年度は成熟事業の喪失を契機とした事業構造の転換期において、新規事業の確立と既存事業の拡大を両立させ、センターとしての新たな事業基盤を築く一年となりました。

その他、事業ごとの実施報告は以下のとおりです。

(1) 就業開拓提供事業（公益目的事業1）

シルバー人材センターの基本理念に賛同する家庭・企業・公共団体等から臨時的かつ短期的又は軽易な業務を受注し、就業を希望する会員へ提供しました。

また、既存の就業先に訪問し、新規作業の獲得や従来の就業人数の拡大に努めました。特に下記については積極的な事業実施に注力しました。

- ① 新規事業開拓のため、交野市をはじめ他市シルバーセンター等の関連団体と情報交換を密に行うとともに、昨年に引き続き「シルバー人材バンク事業」による会員の能力などの情報を活用しました。
- ② 植木剪定作業、除草作業、施設管理作業や各種清掃作業等をはじめとする既存事業について、後継者となる人材を発掘し新規就業者の拡大を目指し、特に除草作業就業会員の拡充を実施しました。
また、市民を中心とした多種多様な内容の依頼に対処するための「まごのて」（交野のまちの便利屋）及び、近年増加する家事援助サービスを提供するサポートセンター「すみれ」の事業拡大を進めました。
- ③ 市民農園事業では、農園の管理運営の効率化に努めました。

(2) 普及啓発事業（公益目的事業1）

- ・ 「事務局だより」を毎月発行
- ・ ホームページやInstagramによる情報発信
- ・ 入会促進のため、広告掲載やお茶会の実施
- ・ 行政と連携した啓発活動、地域清掃活動の実施

(3) 研修・講習会事業（公益目的事業1）

植木剪定講習会の実施、河北地区ブロック共催の植木剪定講習会や安全講習会への積極的参加。また、会員を講師とした篆刻教室、スマートフォン講習会やレザークラフト講習会を開催しました。

(4) 安全・適正就業推進事業（公益目的事業1）

- ・ 安全意識の向上を図るための継続的な啓発活動の実施
- ・ 安全マニュアルの見直しや、安全情報を発信するとともに、安全パトロールを強化するなど安全対策を充実
- ・ 全国シルバー人材センター事業協会から委託を受けたシルバー会員就業支援事業で、主に屋外作業に従事する会員に対する各種アシストスーツ貸与等、就業環境の改善を実施。
- ・ 事業所や職群班内でのワークシェアリング意識の啓発を実施

(5) 訪問介護事業（公益目的事業1）

健康で福祉に理解と熱意を持つ会員である高年齢者が、介護や家事援助を必要とする人々に介護サービスを提供しています。訪問介護事業と介護予防・日常生活支援総合事業を積極的に受託しましたが、訪問介護事業は前年度を下回りました。次年度においては改善を図ります。

令和6年度 訪問介護事業

利用者実人数 169人、利用延べ回数 1,183回

令和6年度 介護予防・日常生活支援総合事業

利用者実人数 320人、利用延べ回数 1,660回

令和7年度 訪問介護事業

利用者実人数 137人、利用延べ回数 1,029回

令和7年度 介護予防・日常生活支援総合事業

利用者実人数 358人、利用延べ回数 1,912回

交野市子育て世帯訪問支援事業の委託

前年度に引き続き交野市子育て世帯訪問支援事業の委託を受け、5件の子育て世帯への支援を実施しました。今後も子育て世帯への支援を行ってまいります。

交野市通所型サービスCに係る送迎業務委託

令和7年度から新たに交野市が実施している通所型サービスCでの送迎業務の委託を受け実施しています。

(6) 職業紹介事業（公益目的事業1）

臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る求人を企業等から受け付け、1件の職業紹介を実施いたしました。

(7) 一般労働者派遣事業（公益目的事業1）

公益社団法人大阪府シルバー人材センター協議会が行う、一般労働者派遣事業の派遣事業所として派遣業務を実施しました。

令和6年度 一般労働者派遣事業

契約件数 7件、就業実人員 14人

就業延人員 1,523人、契約金額 10,579,031円

令和7年度 一般労働者派遣事業

契約件数 12件、就業実人員 18人

就業延人員 1,874人、契約金額 12,197,948円

(8) 交野市立高齢者生きがい創造センターの受託管理（公益目的事業1）

交野市立高齢者生きがい創造センターの管理業務を令和4年度から令和8年度までの5年間を指定管理者として管理運営業務を実施します。特に令和7年度は会員によるお茶会を開催し、一般市民の参加者を受け入れました。

(9) 事務所体制の充実（公益目的事業1）

事務局内のデジタル化推進により、情報共有のデジタル化、職員の社用番号活

用、必要に応じた在宅ワークを実施しました。また、会員クラウドシステムの活用による入会申し込みの簡略化や、就業関連情報、事務局だより、会員個別の就業明細のデジタル発信に努めました。

(10) 専門部会等の活性化（法人事業）

シルバー事業推進のため、必要に応じて各種会議等を実施しました。

(11) 規定・規則の適切な運用（法人事業）

組織運営の基本となる定款、規定や規則の内容を検討し適切な変更を実施しました。

その他、実施した会議・研修内容の詳細及び事故報告は次のとおりです。